

埼玉県魚類研究会代表 金澤光氏

Q 在来種だけにするには「くじょ」以外にどのような方法があるのか

A 駆除以外方法はないです。沼の水を全部干すとか

Q 魚卵の産卵時に水草に取り付けるメリットとなぜハクレン・ソウギョは取り付けないのか。

A 水草に着く魚卵は、付着卵で金魚やコイなど、ブルーギルなどに食害される恐れがある

メリットは一度に大量の卵を水草に付着させることができます。

ソウギョ類の魚卵は、流下卵で水草には付着しません。川に流されながらふ化する仕組みです。

河川水が濁っている時にふ化するので食害されることはありません。

距離の短い河川ではふ化するまでに海に流れてしまいます。

利根川のような河川流路距離が長い河川でないと、産卵やふ化が出来ません。

Q 魚卵のふ化の時間

A メダカは水温 25℃で 10 日間

金魚は水温 20℃で 4 ～5 日間

ソウギョ類は水温 20℃で 36～20 時間

Q アメリカナマズのほかに戦時中の中国からの輸入魚。今行われている外来種対策の具体的な取り組み。

A 戦時中導入されたソウギョ、アオウオ、ハクレン、コクレンは、埼玉県では駆除対象になっていません。

駆除対象はアメリカナマズ、コクチバス、オオクチバス、ブルーギル

農水省の補助事業や埼玉県では飯能市外来魚駆除事業補助金で駆除及び処理事業が交付されています。